



News Letter

第40号:発行日 平成30年1月31日

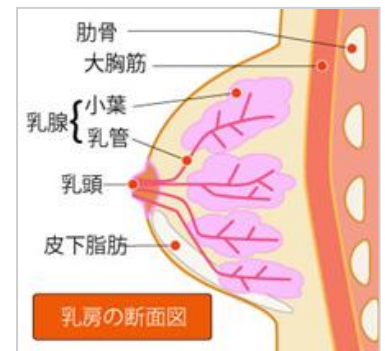
マンモグラフィと乳腺濃度

乳がんとは

乳がんは、乳房にある乳腺に発生する悪性腫瘍で、その多くは乳管から発生します。また、乳がんは、大きく「非浸潤がん」と「浸潤がん」に分けられます。乳房の深部に発生するがんや、非浸潤がんは視触診だけでは分かりにくいことがあります。

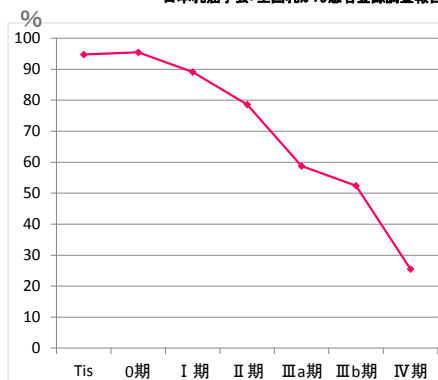
現在、日本女性の12人に1人が乳がんにかかるといわれています。早期に見つけて治療すれば、約90%の方が治ります。早期発見のためには、自己検診や医療機関での定期検診が大切です。

※乳がんは男性にも発生します。男性の乳がんは、年間の死亡数で女性の乳がんの100分の1以下のまれながんですが、気になる症状がございましたら外来をご受診ください。



乳がんの進行度と10年生存率

日本乳癌学会「全国乳がん患者登録調査報告第29号」より



Tis: 乳管内にとどまるがん
非浸潤がん(超早期)
0期: しこりや画像診断で異常な影を認めないもの
I期: 2cm以下のしこりで、リンパ節転移がないと思われるもの
II期: 2cmを超え5cm以下のしこりがある、もしくはリンパ節転移が疑われるもの
IIIa期: しこりが5cmを超えるもの
IIIb期: しこりが皮膚などに及んでいるもの
IV期: しこりの大きさを問わず、他臓器に転移が認められるもの

当院のマンモグラフィ装置

新型フラットパネル搭載により、検査時間が大幅に短くなりました。

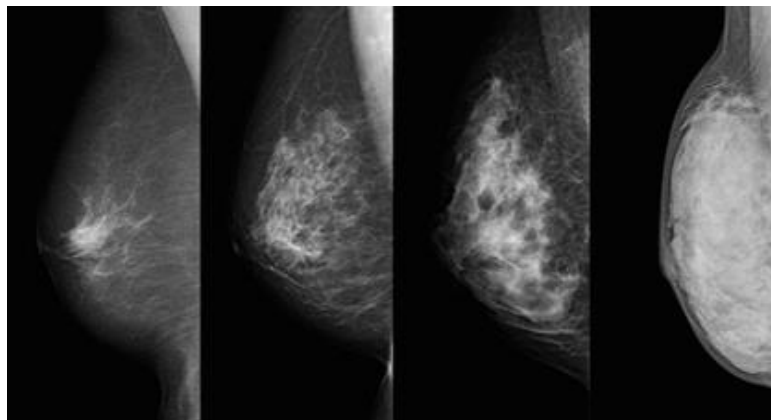
高精度な圧迫力検出により、圧迫力に応じて圧迫速度を徐々に減速するシステムを搭載しています。手のひらで押し広げた乳腺を優しく、確実に固定することができます。第一圧迫圧(一旦停止圧迫圧)と第二圧迫圧(最大圧迫圧)の設定ができるため、乳房に急激な圧力がかかる心配がありません。

また、この装置は身体があたる装置部分の角を取り、丸みを帯びた形状にデザインされており、圧迫板がわずかにしなることで、従来よりも痛みを少なくする工夫がされています。



乳腺濃度

乳腺濃度には個人差があります。右のマンモグラフィ画像で、①は乳腺が少ない脂肪性乳房で、全体に黒っぽく写っているのに対し、②～③のマンモグラフィでは白く写っている部分が多くなり、④の画像ではほとんど白く写っています。マンモグラフィでは乳腺は白く写るので、乳腺が多いほど白い面積が多くなります。マンモグラフィでほとんど白く写る乳腺濃度が高い乳房のことを、高濃度乳腺、英語で「デンスブレスト(dense breast)」といいます。

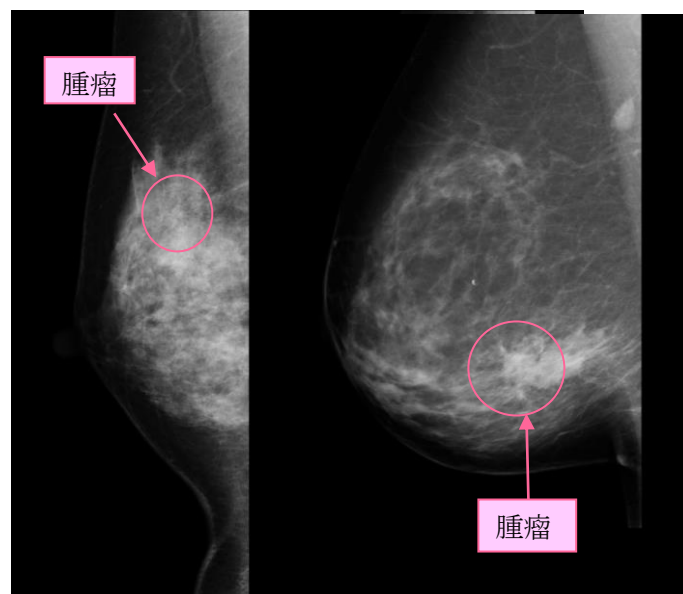


① 脂肪性 ② 乳腺散在 ③ 不均一高濃度 ④ 高濃度

Dense breast(高濃度乳腺)

マンモグラフィでは、乳腺や腫瘤(しこり)はどちらも白く写るため、乳腺濃度の高い乳房ほど腫瘤を見つけにくくなります。欧米では、乳腺濃度に関する情報を本人に提供するよう医療機関に義務づける法律の制定が進んでおり、乳腺濃度を知ることの重要性が認識されています。当院では、マンモグラフィで高濃度乳腺の判定が出た方には、結果表で高濃度乳腺であることをお知らせしています。

また、高濃度乳腺の方には、乳房音波検査の併用をお勧めしております。マンモグラフィ検査と超音波検査を併用することで、乳がんの見落としを減らし、検査精度を向上できると考えられます。



乳房 X 線検査、乳房超音波検査には、それぞれ特徴があります。当院では、両方の検査を交互に受診することをお勧めします。ただし、以下の項目に当てはまる方は、マンモグラフィの受診が出来ません。

- ・妊娠、妊娠の可能性がある方
- ・授乳中の方、断乳6ヶ月以内の方
- ・豊胸手術をされている方
- ・胸部に医療器具(ペースメーカー等)の埋め込み手術をされている方

検査のご予約やご相談は、Tel.03-3668-6800 へご連絡ください。



今後もニュースレターを発行し、皆様の健康管理に少しでも参考になればと思います。ぜひ皆様からのご意見、ご感想をお寄せください。今後もこのニュースレターやホームページ等を通じ、役立つ情報を発信してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

公益財団法人早期胃癌検診協会 事務局

Tel.03-3668-6803/E-mail:mail@soiken.or.jp